

SORA

web magazine 2014.nov. vol.43

MAP
CLICK!

ビッグブルーで行く

Thailand Similan & Khaolak

Photo & Text : Yasuaki Kagii

インターナショナルなアンダマン海ダイブクルーズ! & デイトリップ!



毎年11月～4月にシーズンを迎えるタイ・アンダマン海。潜るエリアは、スミラン諸島、コボン、コタチャイ、リチェリユーロック。どのポイントも個性があり、一度のダイビングではその魅力を知ることには難しい。だから世界中からのリピーターがとても多い。安定的に魚影の濃いアンダマン海だが、昨年は+αが連続した! ジンベイヤメやマンタがたくさんダイバーに挨拶にやって来てくれた。今年はどんな海になるのか? 楽しい予想しか思い浮かばないが、昨年の取材の様子をまずはご紹介。毎年、色んな表情を見せてくれるアンダマン海、ビッグブルーでは、クルーズとデイトリップの2つのスタイルで、旬のアンダマン海を楽しませてくれる。

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



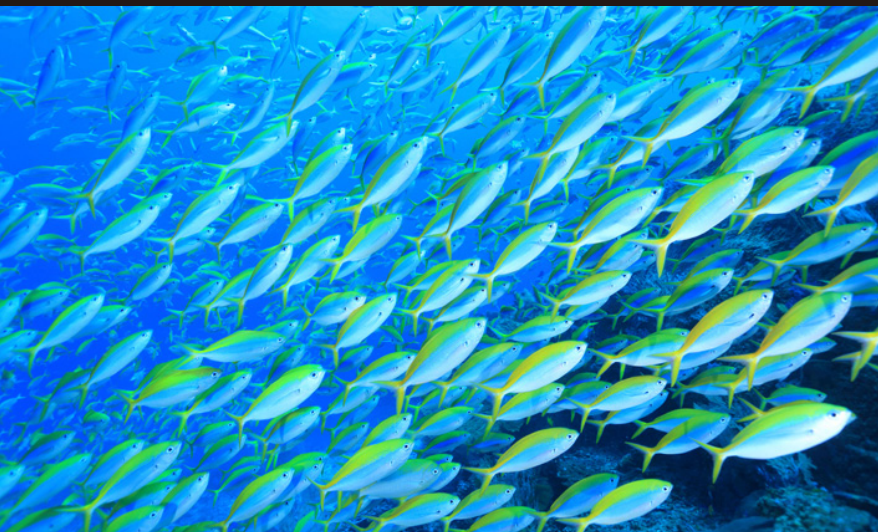
(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2014
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.





ハレルヤ号に乗船！ クルーズ初日のファーストダイブ

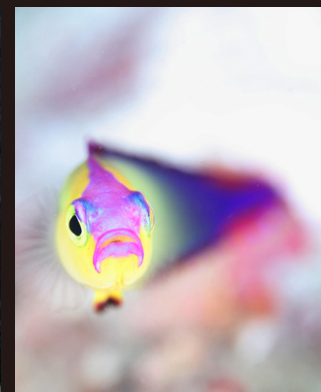


チェックダイブを兼ねて潜り込んだのは、アニタズリーフ。ここ数年、毎年このタイのアンダマンクルーズに乗船取材をしているが、いつもこのポイントで始まることが多い。朝一番でエントリー。水温 29 度の海水が、ウェットスーツの中に沁み込んでいく。水面から差し込む斜光が、生まれたての朝を演出してくれる。ざわめくお魚たちを横目にメインの根に着くと、スカシテンジクダイの群れが根を覆い尽くしていた。去年とは、また違った水中景観。そこに様々なお魚が捕食のために突っ込み、銀鱗の群れは、不規則な波を打つ。ファーストダイブを終えた感想は、「今年もまた素敵な出会いを予感せずにはいられない」だった。



様々な視点で楽しむ スミラン諸島のポイント

スミラン諸島に点在するたくさんのポイントは、どれも魅力的。白い砂地に美しいソフトコーラルが群棲するポイントや奇石がダイナミックな水中景観を作り出すポイントがある。今回、印象的だったポイントのひとつは、ノースポイント。まず離れ根に行き、これまでアケボノハゼだと思われていたが、昨年に別種として発表され、注目されている Exquisite dartfish を撮影。アケボノハゼよりも黄色がかった体色が特徴。その新しい名を持つハゼの周囲は、ウミウチワが連立する壮大な海中景観が続く。水深を上げると、大きな岩の門のような地形が待ち受けている。その足元にはニシキフウライウオなどの小物もいる。そして、門の間を抜けて、水深を上げると、大きなバラクーダの群れが水面下を漂っていた。地形、生物の両方を楽しめるアンダマンらしい素晴らしいポイントだった。



O 海 cean

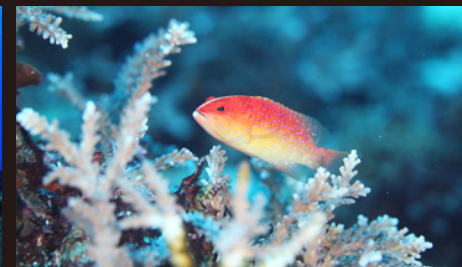
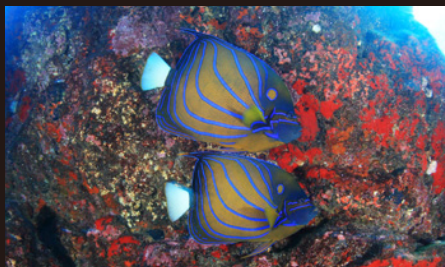


タイ・シミラン&カオラック Thailand
Similan & Khaolak



宇宙空間のようなコボン

コボンの魅力も素晴らしい。沖に突き出た根は、淡い色のソフトコーラルで包まれ、その色に誘われるように先端に進んでいくと、スカシテンジクダイが群れ、その群れに無数のマルクチヒメジ、ツムブリ、キツネフエフキダイが襲い掛かる。淡い優しい風景から、突如として現れる食物連鎖の野生の行動。そのアンバランスな展開に不思議な感覚を憶える。規模の大きさは毎年違うが、スカシテンジクダイの群れは、海底のそこそこで見られる。浅瀬に群れているときは、青い空間に銀河が浮かんでいるようで、宇宙空間にいる感覚になる。そして、ツムブリなどに追い掛けられたスカシテンジクダイたちは、様々な群れの形になる。惑星のように大きな球体になったり、雲海のようになったりして逃げ惑う。その様子は壮大で、キラキラとして、息を飲むほど美しい。そして、コボンは5m級のマンタに出会えるポイント。いくつかのクリーニングステーションがあり、出会える可能性は高い。今回は、残念ながら会えなかったが、他のグループはちゃんと出会っていたので、私は運が悪かったのだろう。海底に群れるマッコスカズラスの群れから、マンタまで、マクロの生き物からワイドのアイドルまで、見所がたくさんのダイビングポイントである。



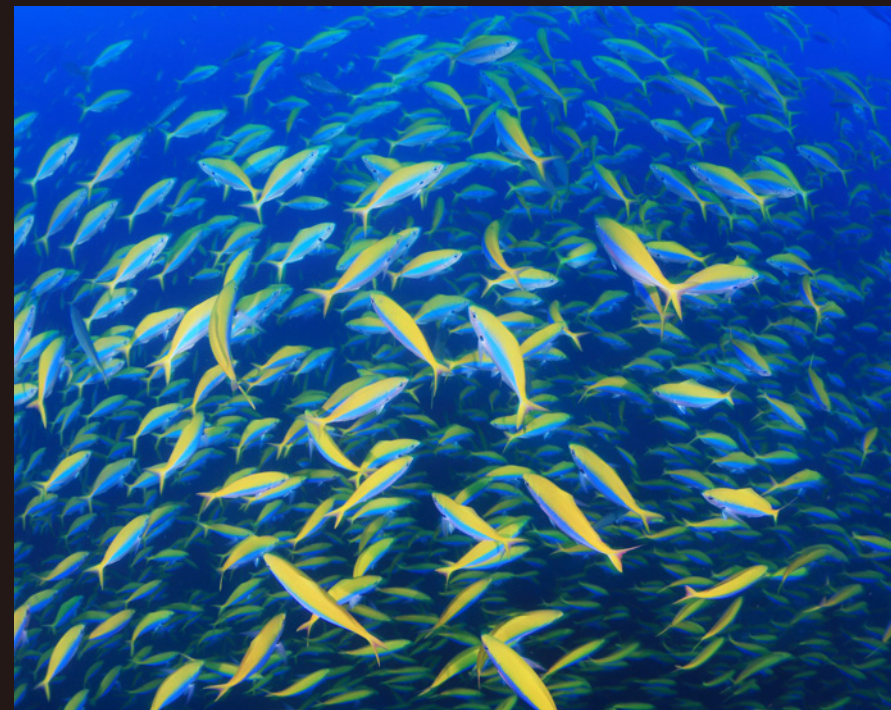
S 驚き
urprise

タイのダイビングスポット Thailand
Similan & Khaolak

コボンで、お魚まみれになろう！

S驚き urprise

タイ・シミラン&カオラック **Thailand
Similan & Khaolak**



コタチャイの魅力は何と言っても、魚影の濃さと竜宮城

コタチャイは、特に魚影が濃く、バラクーダの群れ、ロウニンアジの群れ、バナナフィジューラの群れなどがリーフの上でぎゅっと凝縮している。そして、朝夕の捕食シーンになると、クマザサハナムロやバナナフィジューラの群れに中型の捕食魚が襲い、水中で爆発音が聞こえるような迫力満点のシーンに出会える。そしてサンゴも美しく、

特に、竜宮城と呼ばれるイソバナやソフトコーラルが群棲したあるエリアは、華やかでかつキンメドキなどもたくさん群れているので、生命の躍動を感じることができる。とてもフォトジェニックなポイントなので、私は毎回ここで撮影している。

R ロマンス
Romance

タイ・シミラン & カオラック Thailand
Similan & Khaolak

こんなシーンは滅多に会えない！

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



Rロマンス Romance

そして、今回は、素晴らしい出会いがあった。3本目のダイビングを終了した直後、船上がざわめく。水面に浮いているダイバーが片手を頭の上にして、「シャーク!」と叫んでいる。その言葉が合図となり、ダイビング、若しくはスノーケリングで海にエントリーしていく。私も、ウェットスーツを着ずに、ダイビング器材を付けて、すぐにエントリー。海中で待っていたダイバーが「もういない」というジェスチャーをしたが、少し漂っていると、青い海の向こうから、ゆっくりジンベイザメが泳いできた。ジンベイザメは慌てる様子もなく、悠然とダイバーの間を泳いでいく。慌てているのは、ダイバーの方で、次から次へと入れ代わり立ち代わりで、ジンベイザメへの接近を試みる。ガイドダイバーの大村健さんの誘導で、潮当たりの先端で待っていると、ゆっくりとジンベイザメが泳いで来て、ロウニンアジがジンベイザメを取り囲んだ。本当に美しいシーンだった。ジンベイザメだけの写真なら世界中の色々な海で撮影できるが、そこにロウニンアジの群れが絡んでくることはなかなかない。もともと魚影に濃い海だけに、何か大物が出現すると倍々ゲームすごいダイビングになってしまう。正直、息をするのも忘れるくらい素敵な時間だった。そうそう…、書き忘れそうになったが、ジンベイザメの前に、マンタにも出会った。こちらは大きなロウニンアジを引き連れた3m弱の個体で、ちょっぴりシャイだったので、長くは遊んでくれなかった。よく考えてみれば、その日は、クルーズの全ての目的を達成できたような日だった。疲れ切った私は、美味しい夕食も食わずに幸せな気分でベッドに潜り込んでいた。

タイ・シミラン&カオラック **Thailand**
Similan & Khaolak



A 行動 ction

自慢のダイブクルーズ船！ ハレルヤ号

日本人ダイバーだけが乗船するダイブクルーズ船ではなく、ヨーロッパや世界中のダイバーも混載するインターナショナルなダイブクルーズ。エリア最大級のダイブクルーズで、全13室。3つのカテゴリーがあるが、全キャビンにプライベートのバスルームが付く。リビングダイビングや後方と屋上の屋根付きのサンデッキも広く、快適な空間を確保している。食事は、3食buffetスタイルで、タイ料理が中心で洋食なども用意されている。味は、とにかく美味しく、毎回の食事は本当に楽しみだった。そして、バリアフリーのダイブデッキがあり、本船から直接エントリーするダイビングスタイル。カメラセッティング専用の部屋も新たに設けられた。

タイ・シミラン&カオラック **Thailand
Similan & Khaolak**



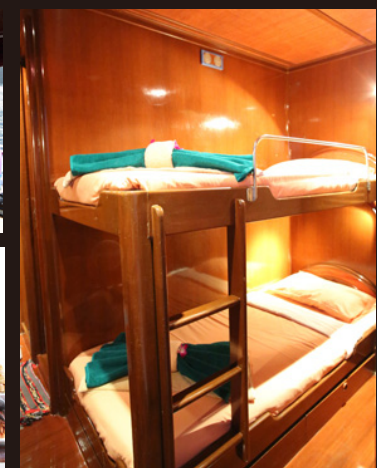
A 行動 ction



タイ・シミラン&カオラック **Thailand
Similan & Khaolak**



海も陸も
満喫のデイトリップ！



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく船



A 行動 ction

デイトリップ

ビッグブルーダイビング カオラック店は、町の北側にある港を開拓したことで、デイトリップでの移動時間がぐんと短くなった。港からリチェリューロックまでは片道約1時間で行くことができる。エリア最速のスピードボートで、効率良く人気ポイントを巡り、時間を有効に過ごすことができる。デイトリップは曜日によって、シミラン諸島、コボン、コタチャイ、リチェリューロックなどに行くデイルースケジュールになっているので、事前に確認したい。集合（ホテルピックアップ）は、8時過ぎで、9時頃に出航して、ランチを挟んで2ダイブを行い、夕方3時から4時頃に戻ってくる。その後は、海岸線でタイマッサージを楽しんだり、美味しいタイ料理に舌鼓を打つことができる。



ビッグブルーダイビング《カオラック店》

オーナーガイドの大村健（タイ歴 15 年）さんを筆頭に経験豊富な日本人ガイドが揃う。日本人のニーズ、リクエストにあったサービスを提供することで定評がある。世界中から集うゲストダイバーのニーズに幅広く応えるために、ダイブクルーズとデイトリップの2つのダイビングスタイルを行っている。

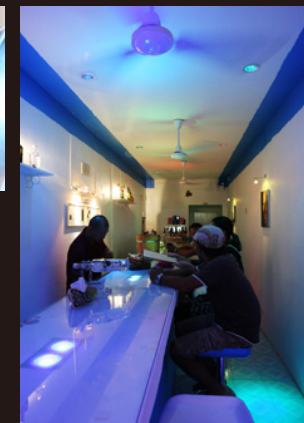


ビッグブルーバニアン店が誕生！

カオラックはビーチ沿いに開けたリゾートだが、大きく分けて2つのエリアに分かれている。そのうちの1つが、バニアン地区。こじんまりした町で、散策しやすいのが特徴。美味しいレストランもたくさんあり、また週3回（月、水、土）に屋外マーケットが開かれ、お土産物などの雑貨から、屋台まで色々出ている。その中心にビッグブルーバニアン店が誕生。バニアン店は主に日本人スタッフが常駐するので、日本人ゲストもこのお店を活用することが多くなる。



タイ・シミラン&カオラック Thailand Similan & Khaolak



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく館



トニーロッジ Tony Lodge

蔭が覆う可愛い外観が特徴。シンプルだけど、ホットシャワー、エアコン、冷蔵庫などダイバーに最小限の設備がある。マーケットやコンビニなどへのアクセスが便利。ビッグブルーバニアン店へ徒歩圏内。



バニアン地区のお薦めリゾート

モノクローム MONOCHROME

現代的な建物が印象的なリゾート。カップルにおすすめの空間で、12歳以下のゲストは宿泊不可。パッションスイート、ラバールームは、ベッドルームにバスタブがあるアバンギャルドな客室。ムーンライトは、ダイバーにお勧めのツインルーム。バニアン中心部にあり、またビーチにも近い。



ラックコージー RUK COZY

大通りに面した便利なリゾート。カテゴリーはツイン、若しくはダブルのみ。昨年オープンした新しいリゾートで、白を基調としたシンプルな造りで、スタッフの方もフレンドリーに対応してくれる。レストランはないが、周囲にレストラン、セブンイレブンがある。



スダラ ビーチ リゾート Sudala Beach Resort

バニアンビーチから少し奥まったところに位置する。緑溢れる広い敷地を持つ、静かなロケーションのリゾート。リーズナブルだが、バスタブもあり、南国リゾートの雰囲気を満喫できる。



アヤラヴィラス AYARA VILLAS

落ち着いた雰囲気のある大人リゾート。アヤラはタイ語で、アルビノの象のこと。白い像さんは、伝統的に王族の象のように扱われている。ビーチに近いリゾートで、様々なカテゴリーの客室があり、1階の部屋はベランダからプールにエントリーできる。デラックス、プールアクセスルーム、ビラなどがある。

